令和７年度

おいらせ町各会計歳入歳出
決　算　審　査　意　見　書

財政健全化審査意見書

経営健全化審査意見書

おいらせ町監査委員

令和８年８月

目　　次

Ⅰ　令和７年度おいらせ町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算審査意見書

１　審査の対象　・・・・・・・・・・・・・　４
２　審査の方法　・・・・・・・・・・・・・　４
３　審査の期間　・・・・・・・・・・・・・　４
４　審査の結果　・・・・・・・・・・・・・　４
５　審査の概要　・・・・・・・・・・・・・　６
（１）決算の総括　・・・・・・・・・・・　６
（２）町債の状況　・・・・・・・・・・・　６
（３）収入未済・不納欠損等　・・・・・　７
（４）財政力指数等　・・・・・・・・・・　９
６　一 般 会 計　・・・・・・・・・・・・　１０
（１）決算収支　・・・・・・・・・・・・　１０
（２）歳　　入　・・・・・・・・・・・・　１０
（３）歳　　出　・・・・・・・・・・・・　１２
７　特 別 会 計　・・・・・・・・・・・・　１３
（１）国民健康保険特別会計　・・・・・　１３
（２）奨学資金貸付事業特別会計　・・・　１５
（３）介護保険特別会計　・・・・・・・　１７
（４）後期高齢者医療特別会計　・・・・　２０
８　財産に関する調書　・・・・・・・・・・　２２
９　公営企業会計　・・・・・・・・・・・・　２４
（１）病院事業会計　・・・・・・・・・・　２４
（２）下水道事業会計　・・・・・・・・・　２６
１０　総 括 意 見　・・・・・・・・・・・・　２８

Ⅱ　令和７年度財政健全化及び経営健全化審査意見書

令和７年度財政健全化審査意見書　・・・・・　３３
令和７年度経営健全化審査意見書　・・・・・　３５

Ⅲ　令和７年度基金運用状況審査意見書　・・・・・　３８

Ⅳ　参考資料

町税等の徴収率の推移のグラフ　・・・・・　４０

Ⅰ

令和７年度おいらせ町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算審査意見書

お監第　21号
令和8年8月6日

おいらせ町長　成田光寿様

おいらせ町監査委員　川口晴彦

おいらせ町監査委員　木村忠一

令和7年度おいらせ町一般会計及び特別会計歳入歳出決算等の
審査意見について

地方自治法第233条第2項及び地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和7年度おいらせ町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに公営企業会計決算報告書等について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。

１　審査の対象

（１）令和７年度おいらせ町一般会計
（２）令和７年度おいらせ町国民健康保険特別会計
（３）令和７年度おいらせ町奨学資金貸付事業特別会計
（４）令和７年度おいらせ町介護保険特別会計
（５）令和７年度おいらせ町後期高齢者医療特別会計
（６）令和７年度おいらせ町財産に関する調書
（７）令和７年度おいらせ町病院事業会計
（８）令和７年度おいらせ町下水道事業会計

２　審査の方法

審査にあたっては、審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び同事項別明細書、決算附属書類について、計数の正確性、内容の是非、予算の執行の適否等の確認を行うとともに、関係職員から説明を聴取して審査を実施した。

また、定期監査、例月出納検査等の結果も参考にしながら審査を行った。

３　審査の期間

令和８年７月６日から８月６日まで（次ページに掲げる表のとおり）

４　審査の結果

審査に付された各会計の決算書類は、いずれも地方自治法、その他関係法令に準拠して作成されており、かつ決算書に計上されている諸計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、正確であると認めた。

また、予算の執行及び関連する事務の処理は、適正に行われているものと認められた。

別表　審査日程及び審査内容等

日　時	時間	対象課等	審　査　内　容
7月　6　日(月)	14:00	会計課、学務課	財産（基金)、基金運用状況審査
7月　7　日(火)	9:30	総務課	おいらせ町新庁舎建設測量・用地調査等業務委託
	10:00	政策推進課	ＬＧＷＡＮ接続系システム等保守業務委託（長期継続契約）
	10:30	子育て支援課	放課後児童健全育成事業委託（甲洋なかよし児童クラブ）／児童館指定管理
	11:30	まちづくり防災課	二川目地区生活会館改修工事 ㊫
	13:30	産業課	白鳥の家管理業務委託 ㊫
	14:00	学務課	校務用パソコン購入・教師用タブレット購入／おいらせ町学校給食調理等業務委託
7月　9　日(木)	10:00	税務課	納税指導車購入
	10:30	社会教育・体育課	みなくる館誘導灯等改修工事／おいらせ町民プール管理業務委託
	11:30	おいらせ病院	病院事業会計決算状況
	13:30	地域整備課	古間木山 17 号線整備工事／神明橋橋梁補修工事 ㊫
			下水道事業会計決算状況
7月１０日(金)	10:00	現地審査	上記実施事業のうち３事業　※㊫と表記
7月２４日(金)	14:00	財政管財課	財政健全化・経営健全化審査
8月　6　日(木)	9：00		計数及び決算審査意見書最終調製

５　審査の概要

（１）決算の総括

会計別決算状況

（単位：円、％）

区　　分	予算現額	決　　算　　額				
		歳入 A	収入 率	歳出 B	執行 率	形式収支 A-B
一般会計	15,259,147,700	13,992,984,414	91.7	13,259,747,573	86.9	733,236,841
特別会計	5,311,420,000	5,276,322,343	99.3	5,098,860,366	96.0	177,461,977
国民健康保険	2,489,225,000	2,463,526,137	99.0	2,448,030,327	98.3	15,495,810
奨学資金貸付事業	16,529,000	16,682,104	100.9	16,500,206	99.8	181,898
介護保険	2,448,241,000	2,439,673,428	99.7	2,286,702,363	93.4	152,971,065
後期高齢者医療	357,425,000	356,440,674	99.7	347,627,470	97.3	8,813,204
合　　計	20,570,567,700	19,269,306,757	93.7	18,358,607,939	89.2	910,698,818

公営企業会計決算状況

（単位：円、％）

区　分	収　　入			支　　出			形式収支 A－B
	予算現額	決算額 A	収入 率	予算現額	決算額 B	執行 率	
病院事業	1,290,415,000	1,158,950,114	89.8	1,310,253,000	1,277,996,110	97.5	△119,045,996
収益的	1,187,333,000	1,056,534,114	89.0	1,187,333,000	1,155,627,820	97.3	△99,093,706
資本的	103,082,000	102,416,000	99.4	122,920,000	122,368,290	99.6	△19,952,290
下水道事業	1,604,530,000	1,563,019,596	97.4	1,680,069,000	1,560,149,825	92.9	2,869,771
収益的	858,517,000	886,282,402	103.2	796,654,000	758,487,444	95.2	127,794,958
資本的	746,013,000	676,737,194	90.7	883,415,000	801,662,381	90.7	△124,925,187
合　計	2,894,945,000	2,721,969,710	94.0	2,990,322,000	2,838,145,935	94.9	△116,176,225

（２）町債の状況

町債残高状況

（単位：円、％）

区　　分	令和６年度末 借入残高　A	令和７年度		令和７年度末 借入残高　B	増減率 (B-A)/A
		借入額	元金償還額		
一般会計	7,723,734,068	1,139,900,000	833,121,333	8,030,512,735	4.0
公営企業会計	4,826,992,365	512,700,000	705,638,779	4,634,053,586	△ 4.0
病院事業	113,440,000	75,600,000	40,610,000	148,430,000	30.8
下水道事業	4,713,552,365	437,100,000	665,028,779	4,485,623,586	△ 4.8
合　　計	12,550,726,433	1,652,600,000	1,538,760,112	12,664,566,321	0.9

（3）収入未済・不納欠損等

収入未済額の状況

（単位：円、％）

区　　分	収入未済額		増　　減	
	令和７年度 A	令和６年度 B	額 C（A－B）	率 C/B
一般会計	**77,604,400**	**99,234,091**	**△21,629,691**	**△ 21.8**
町税	67,346,089	61,748,800	5,597,289	9.1
町民税	35,169,999	29,245,392	5,924,607	20.3
固定資産税	29,669,190	29,672,308	△ 3,118	0.0
軽自動車税	2,506,900	2,831,100	△ 324,200	△ 11.5
分担金及び負担金	752,881	1,066,701	△ 313,820	△ 29.4
学校給食費	752,881	1,066,701	△ 313,820	△ 29.4
使用料及び手数料	9,505,430	11,076,590	△ 1,571,160	△ 14.2
霊園管理料	35,930	19,590	16,340	83.4
町営住宅使用料	8,497,700	10,448,600	△ 1,950,900	△ 18.7
町税督促手数料	955,600	589,200	366,400	62.2
町営住宅使用料督促手数料	16,200	19,200	△ 3,000	△ 15.6
国庫支出金	0	25,342,000	△25,342,000	皆減
繰越明許分等	0	25,342,000	△25,342,000	皆減
特別会計	**93,772,856**	**91,203,980**	**2,568,876**	**2.8**
国民健康保険	81,597,874	80,274,054	1,323,820	1.6
国民健康保険税	80,920,954	79,790,734	1,130,220	1.4
使用料及び手数料	673,400	479,800	193,600	40.4
諸収入	3,520	3,520	0	0.0
奨学資金貸付事業	5,024,000	4,573,000	451,000	9.9
貸付金元利収入	5,024,000	4,573,000	451,000	9.9
介護保険	3,900,912	3,602,556	298,356	8.3
介護保険料	3,817,712	3,518,356	299,356	8.5
手数料	83,200	84,200	△ 1,000	△ 1.2
後期高齢者医療	3,250,070	2,754,370	495,700	18.0
後期高齢者医療保険料	3,214,870	2,725,170	489,700	18.0
使用料及び手数料	35,200	29,200	6,000	20.5
公営企業会計	**17,688,267**	**16,328,375**	**1,359,892**	**8.3**
病院事業会計	6,012,563	6,145,802	△133,239	△2.2
医療費	6,012,563	6,145,802	△133,239	△2.2
下水道事業会計	11,675,704	10,182,573	1,493,131	14.7
分担金・負担金	160,900	180,500	△ 19,600	△ 10.9
使用料及び手数料	11,514,804	10,002,073	1,512,731	15.1
合　　計	**189,065,523**	**206,766,446**	**△ 17,700,923**	**△ 8.6**

不納欠損額の状況

区　　分	不納欠損額		増　　減	
	令和７年度 A	令和６年度 B	額 C（A－B）	率 C/B
一般会計	**6,942,120**	**10,229,671**	**△ 3,287,551**	**△ 32.1**
町税	6,235,265	9,605,481	△ 3,370,216	△ 35.1
町民税	3,027,312	1,634,981	1,392,331	85.2
固定資産税	2,736,353	7,709,000	△ 4,972,647	△ 64.5
軽自動車税	471,600	261,500	210,100	80.3
分担金及び負担金	111,655	79,990	31,665	39.6
学校給食費	111,655	79,990	31,665	39.6
使用料及び手数料	595,200	544,200	51,000	9.4
町営住宅使用料	490,000	458,200	31,800	6.9
町税督促手数料	103,200	84,200	19,000	22.6
町営住宅使用料督促手数料	2,000	1,800	200	11.1
特別会計	**11,637,632**	**11,547,769**	**89,863**	**0.8**
国民健康保険	9,596,812	7,502,669	2,094,143	27.9
国民健康保険税	9,483,212	7,437,669	2,045,543	27.5
使用料及び手数料	113,600	65,000	48,600	74.8
介護保険	1,430,620	2,247,000	△ 816,380	△ 36.3
介護保険料	1,399,220	2,202,400	△ 803,180	△ 36.5
使用料及び手数料	31,400	44,600	△ 13,200	△ 29.6
後期高齢者医療	610,200	1,798,100	△ 1,187,900	△ 66.1
後期高齢者医療保険料	601,600	1,783,500	△ 1,181,900	△ 66.3
使用料及び手数料	8,600	14,600	△ 6,000	△ 41.1
公営企業会計	**697,474**	**514,345**	**183,129**	**35.6**
病院事業会計	0	0	0	－
医療費	0	0	0	－
下水道事業会計	697,474	514,345	183,129	35.6
分担金・負担金	19,600	0	19,600	皆増
使用料及び手数料	677,874	514,345	163,529	31.8
合　　計	**19,277,226**	**22,291,785**	**△ 3,014,559**	**△ 13.5**

（４）財政力指数等

①財政力指数の推移

地方自治体の財政基盤の強さを示す財政力指数は、１を超えると普通交付税が交付されない団体となり、財政力指数は、数値が大きいほど、財政力に余裕のある団体であることを示す。

当町の財政力指数（３か年平均）は、前年度を 0.003 ポイント上回っており、総務省が各自治体の令和６年度決算を集計した「令和８年版地方財政白書資料編」によると全国町村の財政力指数の総平均値は 0.38 と示されており、全国平均をやや上回っている状況である。

		令和５年度	令和６年度	令和７年度
財政力指数	３か年平均	0.456	0.463	0.466
	単年度	0.465	0.459	0.472

②実質収支の推移

実質収支とは、決算が黒字なのか赤字なのかを示す指標である。

２つの表のとおり、一般会計の実質収支は黒字、令和７年度の実質収支から令和６年度の実質収支を差し引いた額である単年度収支も黒字となったが、実質単年度収支は赤字となっている。

（単位：円）

年度	歳入決算額 A	歳出決算額 B	形式収支 C（A-B）	翌年度に繰越すべき財源D	実質収支 E（C-D）
7	13,992,984,414	13,259,747,573	733,236,841	299,663,540	433,573,301
6	13,402,449,272	13,028,023,963	374,425,309	93,764,700	280,660,609
5	12,266,990,343	11,936,144,702	330,845,641	89,790,955	241,054,686

（単位：円）

年度	単年度収支 F	財政調整基金積立金G	繰上償還金 H	基金積立金取り崩し額Ｉ	実質単年度収支 J（F+G+H-Ｉ）
7	152,912,692	7,597,039	0	190,859,000	△30,349,269
6	39,605,923	4,523,147	0	240,786,000	△196,656,930
5	△86,329,006	4,445,154	0	508,909,000	△590,792,852

６　一般会計

（１）決算収支

決算収支状況

（単位：円、％）

区　　分	令和７年度	令和６年度	増　減	
			額	率
予算現額	15,259,147,700	13,827,458,955	1,431,688,745	10.4
歳入決算額　A	13,992,984,414	13,402,449,272	590,535,142	4.4
歳出決算額　B	13,259,747,573	13,028,023,963	231,723,610	1.8
形式収支（Ａ－Ｂ）　C	733,236,841	374,425,309	358,811,532	95.8
翌年度へ繰り越すべき財源　D	299,663,540	93,764,700	205,898,840	219.6
継続費逓次繰越額	0	72,626,700	△ 72,626,700	皆減
繰越明許費繰越額	299,663,540	21,138,000	278,525,540	1,317.7
事故繰越し額	0	0	－	－
実質収支（Ｃ－Ｄ）　E	433,573,301	280,660,609	152,912,692	54.5
前年度実質収支　F	280,660,609	241,054,686	39,605,923	16.4
単年度収支（Ｅ－Ｆ）　G	152,912,692	39,605,923	113,306,769	286.1
翌年度繰越額	1,519,370,114	460,863,700	1,058,506,414	229.7
不用額	480,030,013	338,571,292	141,458,721	41.8

（２）歳入

歳入決算の状況

（単位：円、％）

年度		予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額E（B-C-D）	収入率 C/A	収入率 C/B
7		15,259,147,700	14,077,530,934	13,992,984,414	6,942,120	77,604,400	91.7	99.4
6		13,827,458,955	13,511,913,034	13,402,449,272	10,229,671	99,234,091	96.9	99.2
増減	額	1,431,688,745	565,617,900	590,535,142	△3,287,551	△21,629,691	－	－
増減	率	10.4	4.2	4.4	△32.1	△21.8	△5.2P	0.2P

現年課税分及び滞納繰越分の状況（町税）

（単位：円、％）

区　分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
					７年度	６年度
現年分	**2,984,959,715**	**2,954,772,301**	**37,778**	**30,149,636**	**99.0**	**99.2**
町民税	1,331,785,030	1,314,293,436	24,878	17,466,716	98.7	99.1
固定資産税	1,312,329,100	1,300,620,380	0	11,708,720	99.1	99.2
軽自動車税	101,337,500	100,350,400	12,900	974,200	99.0	99.0
町たばこ税	239,508,085	239,508,085	0	0	100.0	100.0
滞納繰越分	**62,423,079**	**19,029,139**	**6,197,487**	**37,196,453**	**30.5**	**30.7**
町民税	29,925,171	9,219,454	3,002,434	17,703,283	30.8	31.8
固定資産税	29,738,408	9,041,585	2,736,353	17,960,470	30.4	30.0
軽自動車税	2,759,500	768,100	458,700	1,532,700	27.8	29.7
合　　計	**3,047,382,794**	**2,973,801,440**	**6,235,265**	**67,346,089**	**97.6**	**97.4**

◎歳入の構成～自主財源と依存財源～

自主財源・依存財源の状況

（単位：円、％）

年　度	収　入　済　額				増　　減	
	令和７年度 A	構成比	令和６年度 B	構成比	額　C （A－B）	率 C/B
自主財源	**3,937,434,742**	**28.1**	**3,664,226,394**	**27.3**	**273,208,348**	**7.5**
町税	2,973,801,440	21.3	2,719,993,850	20.3	253,807,590	9.3
分担金・負担金	26,825,812	0.2	25,210,095	0.2	1,615,717	6.4
繰入金	515,719,781	3.7	504,843,351	3.8	10,876,430	2.2
その他	421,087,709	3.0	414,179,098	3.1	6,908,611	1.7
依存財源	**10,055,549,672**	**71.9**	**9,738,222,878**	**72.7**	**317,326,794**	**3.3**
地方交付税	3,895,461,000	27.8	3,949,908,000	29.5	△ 54,447,000	△ 1.4
地方消費税交付金	684,863,000	4.9	634,183,000	4.7	50,680,000	8.0
国庫支出金	2,611,524,142	18.7	2,588,533,554	19.3	22,990,588	0.9
県支出金	1,469,200,530	10.5	1,319,026,324	9.8	150,174,206	11.4
町債	1,139,900,000	8.1	883,730,000	6.6	256,170,000	29.0
その他	254,601,000	1.8	362,842,000	2.7	△ 108,241,000	△ 29.8
合　　計	**13,992,984,414**	**100.0**	**13,402,449,272**	**100.0**	**590,535,142**	**4.4**

※構成比は小数点第２位を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

（３）歳出

歳出決算の状況

（単位：円、％）

年度		予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額D A－B－C	執行率 B/A
7		15,259,147,700	13,259,747,573	1,519,370,114	480,030,013	86.9
6		13,827,458,955	13,028,023,963	460,863,700	338,571,292	94.2
増減	額	1,431,688,745	231,723,610	1,058,506,414	141,458,721	－
	率	10.4	1.8	229.7	41.8	△7.3P

目的別歳出決算の状況

（単位：円、％）

年　度	支　出　済　額				増　　減	
	令和７年度 A	構成比	令和６年度 B	構成比	額C A－B	率 C/B
議会費	104,803,295	0.8	106,090,904	0.8	△1,287,609	△ 1.2
総務費	2,181,362,830	16.5	1,839,295,697	14.1	342,067,133	18.6
民生費	4,853,667,425	36.6	4,552,332,617	34.9	301,334,808	6.6
衛生費	924,196,144	7.0	913,695,540	7.0	10,500,604	1.1
労働費	514,680	0.0	717,753	0.0	△203,073	△ 28.3
農林水産業費	234,476,367	1.8	248,271,772	1.9	△13,795,405	△ 5.6
商工費	103,952,527	0.8	97,559,099	0.7	6,393,428	6.6
土木費	1,552,560,270	11.7	1,702,400,130	13.1	△149,839,860	△ 8.8
消防費	454,884,017	3.4	617,492,445	4.7	△162,608,428	△ 26.3
教育費	1,950,508,505	14.7	2,009,891,778	15.4	△59,383,273	△ 3.0
災害復旧費	22,305,277	0.2	0	0.0	22,305,277	皆増
公債費	876,516,236	6.6	940,276,228	7.2	△63,759,992	△ 6.8
合　計	13,259,747,573	100.0	13,028,023,963	100.0	231,723,610	1.8

※構成比は小数点第２位を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

7　特別会計

（1）国民健康保険特別会計

①決算収支

決算収支状況

（単位：円）

区　　分		令和７年度	令和６年度
予算現額		2,489,225,000	2,455,370,000
歳入決算額	A	2,463,526,137	2,386,294,011
歳出決算額	B	2,448,030,327	2,376,875,962
形式収支（A－B）	C	15,495,810	9,418,049
翌年度へ繰り越すべき財源	D	0	0
継続費逓次繰越額		0	0
繰越明許費繰越額		0	0
事故繰越し額		0	0
実質収支（C－D）	E	15,495,810	9,418,049
前年度実質収支	F	9,418,049	35,773,841
単年度収支（E－F）	G	6,077,761	△ 26,355,792

②歳入

歳入決算の状況

（単位：円、％）

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 E（B－C－D）	収入率	
						C/A	C/B
7	2,489,225,000	2,554,720,823	2,463,526,137	9,596,812	81,597,874	99.0	96.4
6	2,455,370,000	2,474,070,734	2,386,294,011	7,502,669	80,274,054	97.2	96.5
増減	33,855,000	80,650,089	77,232,126	2,094,143	1,323,820	1.8P	△0.1P

現年課税分及び滞納繰越分の状況

（単位：円、％）

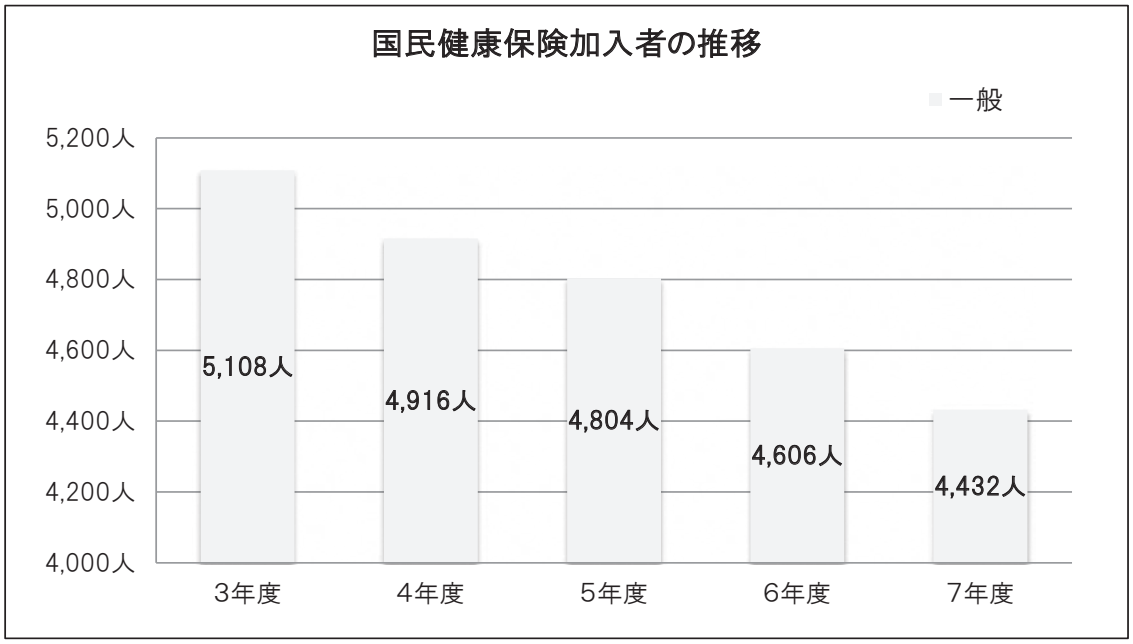
区　分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
					7年度	6年度
現年課税分（一般）	499,848,300	469,570,467	0	30,277,833	93.9	94.7
滞納繰越分（一般）	79,256,134	19,129,801	9,483,212	50,643,121	24.1	29.1
合　計	579,104,434	488,700,268	9,483,212	80,920,954	84.4	84.5

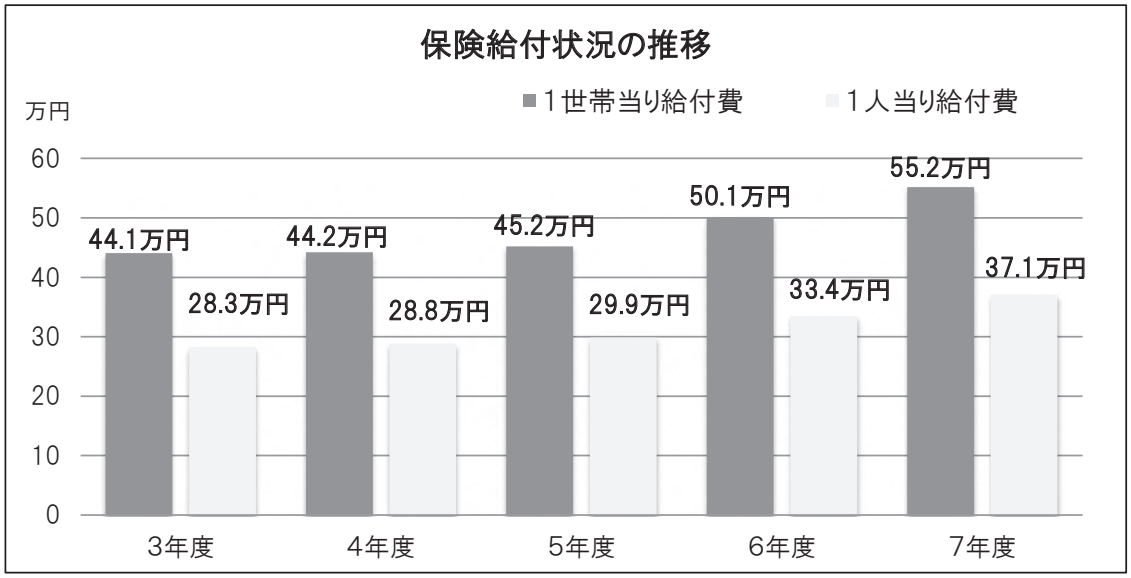
③歳出

歳出決算の状況

（単位：円、％）

年度	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額D A－B－C	執行率 B/A
7	2,489,225,000	2,448,030,327	0	41,194,673	98.3
6	2,455,370,000	2,376,875,962	0	78,494,038	96.8
増減	33,855,000	71,154,365	0	△37,299,365	1.5P





被保険者数は4,432人で、前年度から174人減少した。一方、保険給付費は前年度に比べ1億397万4,815円増加している。

1世帯当たりの給付費は50,382円、1人当たりの給付費は36,580円、それぞれ前年度より増加した。

（２）奨学資金貸付事業特別会計

①決算収支

決算収支状況

（単位：円）

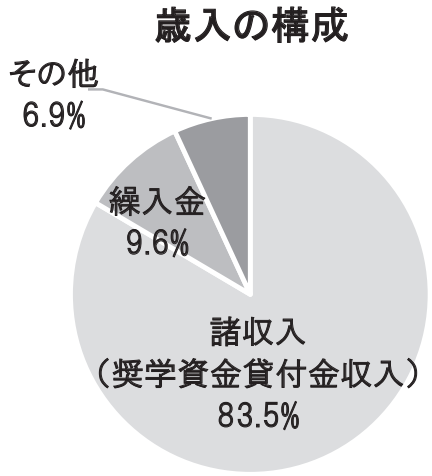
区　　分		令和７年度	令和６年度
予算現額		16,529,000	13,302,000
歳入決算額	A	16,682,104	13,690,981
歳出決算額	B	16,500,206	13,259,241
形式収支（Ａ－Ｂ）	C	181,898	431,740
翌年度へ繰り越すべき財源	D	0	0
継続費逓次繰越額		0	0
繰越明許費繰越額		0	0
事故繰越し額		0	0
実質収支（Ｃ－Ｄ）	E	181,898	431,740
前年度実質収支	F	431,740	457,660
単年度収支（Ｅ－Ｆ）	G	△ 249,842	△25,920

②歳入

歳入決算の状況

（単位：円、％）

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 E(B-C-D)	収入率	
						C/A	C/B
7	16,529,000	21,706,104	16,682,104	0	5,024,000	100.9	76.9
6	13,302,000	18,263,981	13,690,981	0	4,573,000	102.9	75.0
増減	3,227,000	3,442,123	2,991,123	0	451,000	△2.0P	1.9P



収入済額は1,668万2,104円で、前年度に比べ299万1,123円（21.8％）増加している。これは主に、奨学資金貸付金収入が増加したことによるものである。

また、歳入の主な内訳は、奨学資金貸付金収入が83.5％、繰入金が9.6％となっている。

歳　入	収入済額
諸収入（奨学資金貸付金収入）	13,925,000円
繰入金	1,604,000円
その他	1,153,104円

奨学資金貸付金収入の状況

（単位：円、％）

区　分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
					７年度	６年度
現年分	14,376,000	13,156,000	0	1,220,000	91.5	88.2
滞納繰越分	4,573,000	769,000	0	3,804,000	16.8	15.9
合　計	18,949,000	13,925,000	0	5,024,000	73.5	71.6

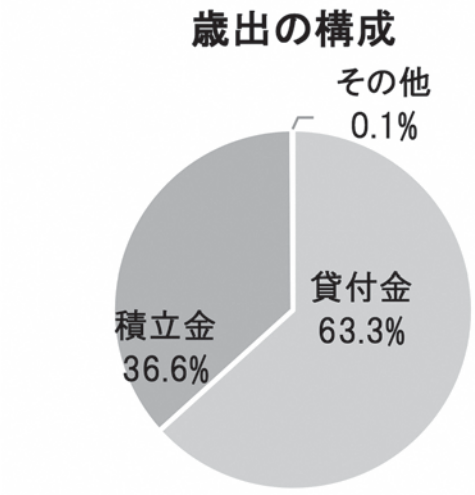
③歳出

歳出決算の状況

（単位：円、％）

年度	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額D A－B－C	執行率 B/A
7	16,529,000	16,500,206	0	28,794	99.8
6	13,302,000	13,259,241	0	42,759	99.7
増減	3,227,000	3,240,965	0	△ 13,965	0.1P

支出済額は1,650万206円で、前年度に比べ324万965円（24.4％）増加している。これは主に、事業費のうち奨学基金積立金が446万578円増加したことによるものである。



歳　出	支出済額
貸付金	10,440,000円
積立金	6,038,364円
その他	21,842円

歳出総額の63.3％を奨学資金貸付金が占めている。

奨学資金貸付人数は前年度の25人から23人に減少し、うち継続貸与者は17人、新規貸与者は6人である。

（３）介護保険特別会計

①決算収支状況

決算収支状況

（単位：円）

区　　分		令和７年度	令和６年度
予算現額		2,448,241,000	2,468,584,000
歳入決算額	A	2,439,673,428	2,439,671,110
歳出決算額	B	2,286,702,363	2,302,961,706
形式収支（Ａ－Ｂ）	C	152,971,065	136,709,404
翌年度へ繰り越すべき財源	D	0	0
継続費逓次繰越額		0	0
繰越明許費繰越額		0	0
事故繰越し額		0	0
実質収支（Ｃ－Ｄ）	E	152,971,065	136,709,404
前年度実質収支	F	136,709,404	175,204,453
単年度収支（Ｅ－Ｆ）	G	16,261,661	△ 38,495,049

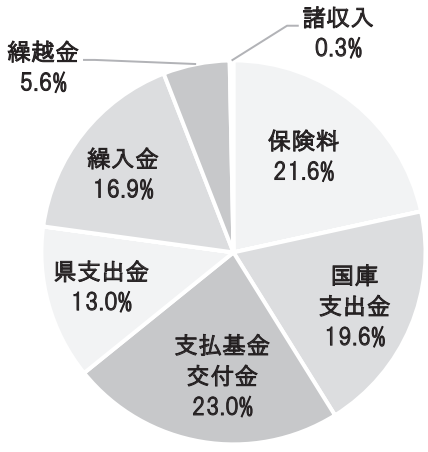
②歳入

歳入決算の状況

（単位：円、％）

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 E(B-C-D)	収入率	
						C/A	C/B
7	2,448,241,000	2,445,004,960	2,439,673,428	1,430,620	3,900,912	99.7	99.8
6	2,468,584,000	2,445,520,666	2,439,671,110	2,247,000	3,602,556	98.8	99.8
増減	△ 20,343,000	△ 515,706	2,318	△ 816,380	298,356	0.9P	0.0P

歳入の構成



収入済額は 24 億 3,967 万 3,428 円であり、前年度とほぼ同水準となっている。主な内訳としては、繰越金が 3,849 万 5,049 円減少したものの、保険料が 858 万 7,120 円、支払基金交付金が 1,286 万 2,430 円、県支出金が 669 万 7,884 円、繰入金が 960 万 5,000 円それぞれ増加したことによるものである。

なお、不納欠損額及び収入未済額の主な内訳は、介護保険料である。

また、歳入を構成する主なものは支払基金交付金が 23.0％、保険料が 21.6％、国庫支出金が 19.6％となっている。

現年度課税分及び滞納繰越分の状況

（単位：円、％）

区　分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
					７年度	６年度
現年分	527,485,632	525,199,560	0	2,286,072	99.6	99.6
滞納繰越分	3,966,160	1,035,300	1,399,220	1,531,640	26.1	33.0
合　計	531,451,792	526,234,860	1,399,220	3,817,712	99.0	98.9

③歳出

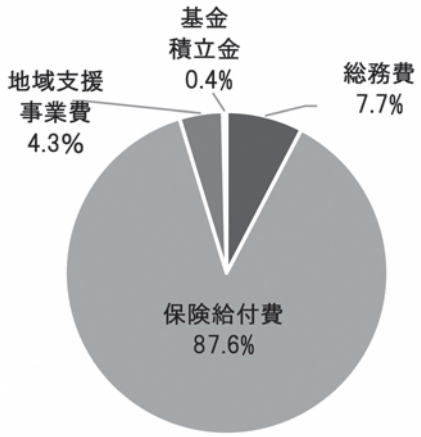
歳出決算の状況

（単位：円、％）

年度	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額D A－B－C	執行率 B/A
7	2,448,241,000	2,286,702,363	0	161,538,637	93.4
6	2,468,584,000	2,302,961,706	0	165,622,294	93.3
増減	△ 20,343,000	△ 16,259,343	0	△ 4,083,657	0.1P

支出済額は 22 億 8,670 万 2,363 円で、前年度に比べ 1,625 万 9,343 円（0.7％）減少した。これは、保険給付費が 2,269 万 2,487 円、地域支援事業費が 1,046 万 5,648 円、基金積立金が 863 万 3,082 円それぞれ増加したものの、総務費が 5,805 万 560 円減少したことによるものである。

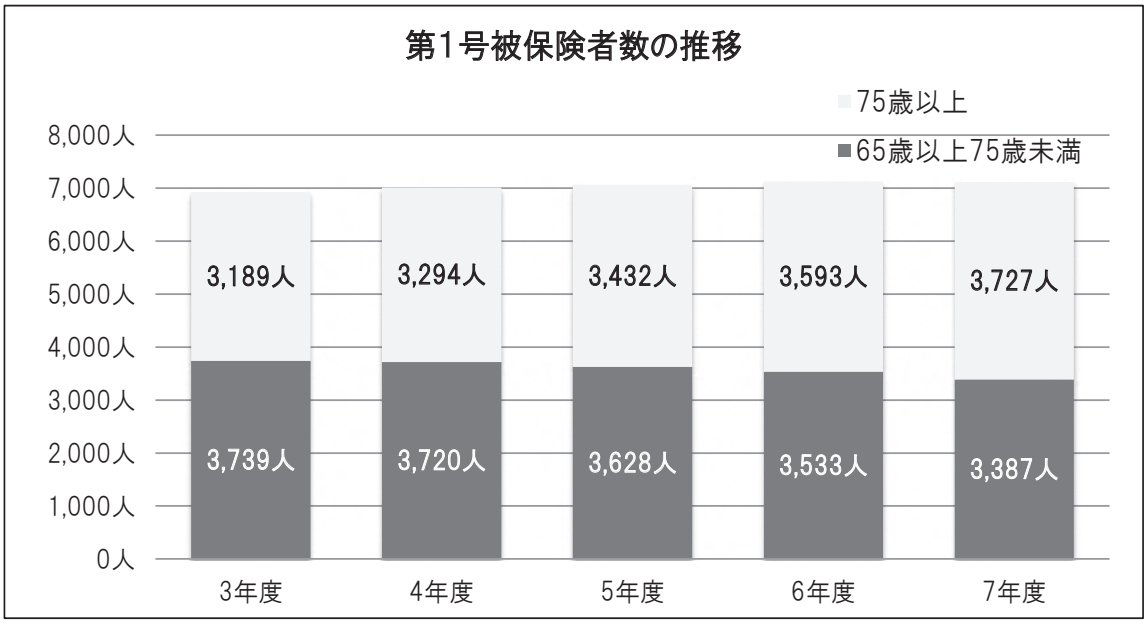
歳出の構成

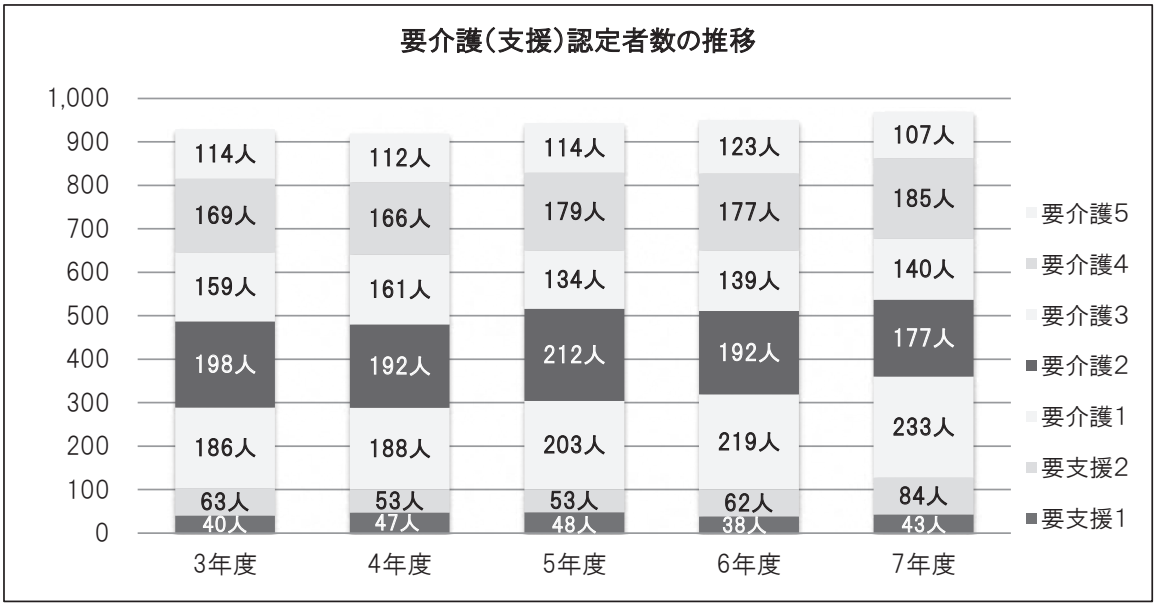


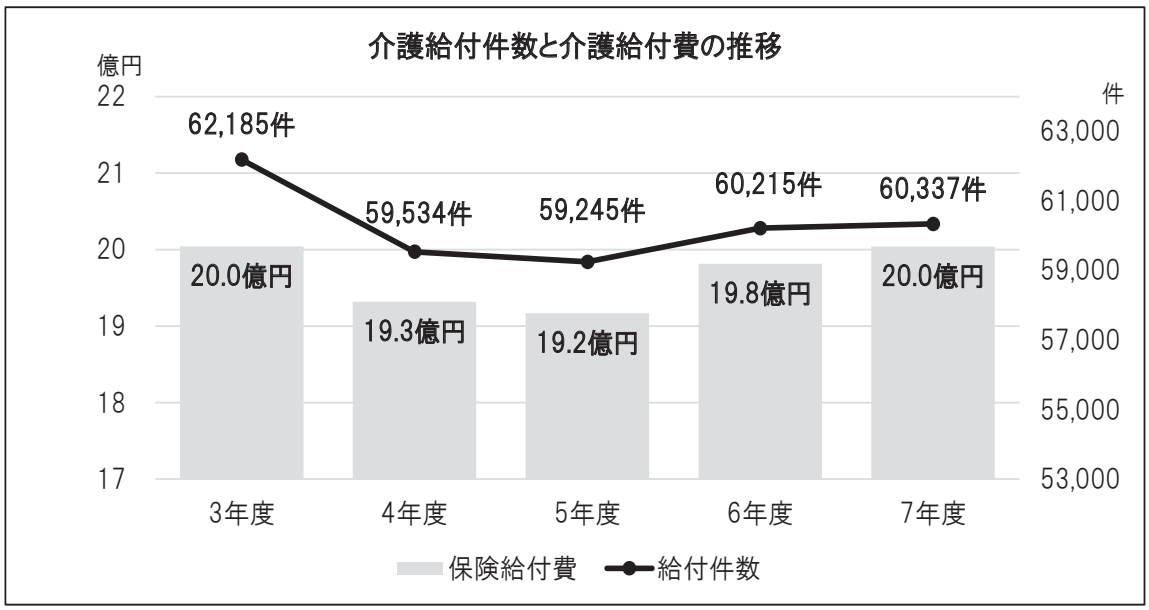
歳　出	支出済額
総務費	175,041,441 円
保険給付費	2,003,977,970 円
地域支援事業費	99,041,862 円
基金積立金	8,641,090 円

歳出総額の 87.6％を保険給付費が占めている。

なお、第 1 号被保険者数は 7,114 人で、前年度より 12 人減少した。また、要支援・要介護認定者数は 969 人で前年度より 19 人増加し、介護給付件数は前年度より 122 件増加した。


第1号被保険者数の推移
75歳以上
65歳以上75歳未満
8,000人
7,000人
6,000人
5,000人
4,000人
3,000人
2,000人
1,000人
0人
3,189人
3,294人
3,432人
3,593人
3,727人
3,739人
3,720人
3,628人
3,533人
3,387人
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度


要介護(支援)認定者数の推移
1,000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
114人
169人
159人
198人
186人
63人
40人
112人
166人
161人
192人
188人
53人
47人
114人
179人
134人
212人
203人
53人
48人
123人
177人
139人
192人
219人
62人
38人
107人
185人
140人
177人
233人
84人
43人
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度
要介護5
要介護4
要介護3
要介護2
要介護1
要支援2
要支援1


介護給付件数と介護給付費の推移
億円
件
22
21
20
19
18
17
63,000
61,000
59,000
57,000
55,000
53,000
62,185件
59,534件
59,245件
60,215件
60,337件
20.0億円
19.3億円
19.2億円
19.8億円
20.0億円
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度
保険給付費
給付件数

（４）後期高齢者医療特別会計

①決算収支状況

決算収支状況

（単位：円）

区　　分		令和７年度	令和６年度
予算現額		357,425,000	334,396,000
歳入決算額	A	356,440,674	332,783,941
歳出決算額	B	347,627,470	323,324,007
形式収支（Ａ－Ｂ）	C	8,813,204	9,459,934
翌年度へ繰り越すべき財源	D	0	0
継続費逓次繰越額		0	0
繰越明許費繰越額		0	0
事故繰越し額		0	0
実質収支（Ｃ－Ｄ）	E	8,813,204	9,459,934
前年度実質収支	F	9,459,934	7,288,404
単年度収支（Ｅ－Ｆ）	G	△ 646,730	2,171,530

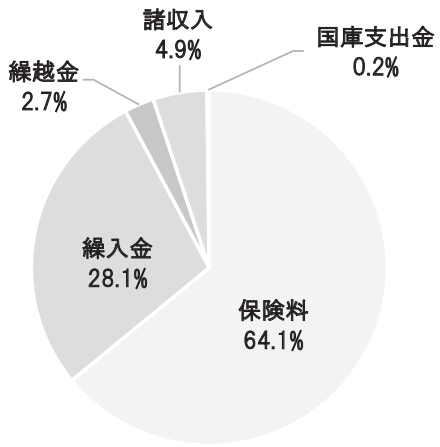
②歳入

歳入決算の状況

（単位：円、％）

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 E(B-C-D)	収入率	
						C/A	C/B
7	357,425,000	360,300,944	356,440,674	610,200	3,250,070	99.7	98.9
6	334,396,000	337,336,411	332,783,941	1,798,100	2,754,370	99.5	98.7
増減	23,029,000	22,964,533	23,656,733	△1,187,900	495,700	0.2P	0.2P

歳入の構成



収入済額は３億5,644万674円で、前年度に比べ2,365万6,733円(7.1％)増加した。これは主に、保険料が1,876万770円、繰越金が217万1,530円増加したことによるものである。

なお、不納欠損額及び収入未済額の主な内訳は、後期高齢者医療保険料である。

また、歳入の主な構成比は、保険料が64.1％、繰入金が28.1％となっている。

現年度課税分及び滞納繰越分の状況

（単位：円、％）

区　分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
					７年度	６年度
現年分	228,924,100	227,766,400	0	1,157,700	99.5	99.4
滞納繰越分	3,168,470	509,700	601,600	2,057,170	16.1	15.8
合　計	232,092,570	228,276,100	601,600	3,214,870	98.4	97.9

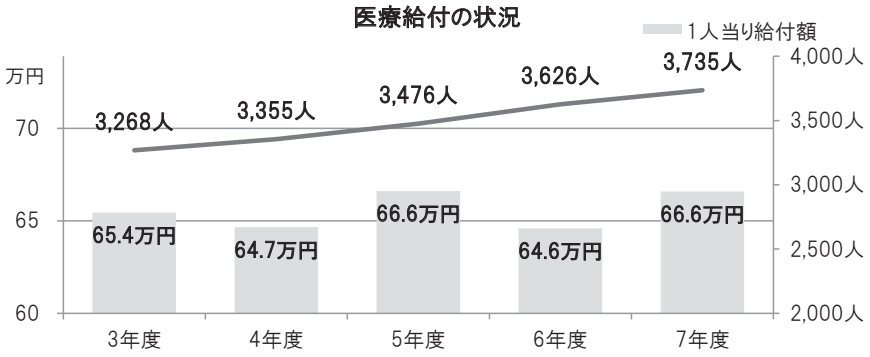
③歳出

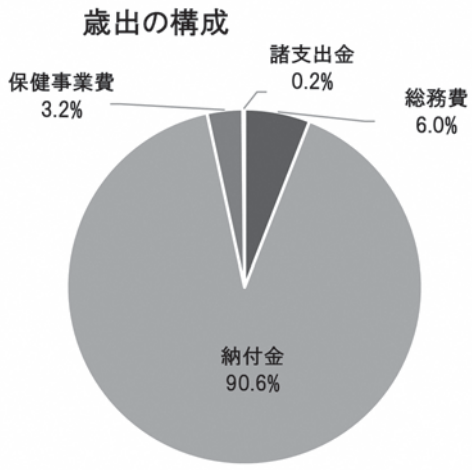
歳出決算の状況

（単位：円、％）

年度	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額D A－B－C	執行率 B/A
7	357,425,000	347,627,470	0	9,797,530	97.3
6	334,396,000	323,324,007	0	11,071,993	96.7
増減	23,029,000	24,303,463	0	△ 1,274,463	0.6P

支出済額は３億4,762万7,470円で、前年度に比べ2,430万3,463円（7.5％）増加した。これは主に、後期高齢者医療広域連合納付金（後期高齢者医療に要する費用）が2,271万1,390円増加したことによるものである。





歳　出	支出済額
総務費	20,692,630円
納付金	315,132,560円
保健事業費	11,232,280円
諸支出金	570,000円

歳出総額の 90.6％を後期高齢者医療広域連合納付金が占めている。

なお、被保険者数は3,735人で、前年度より109人増加している。

８　財産に関する調書

財産に関する調書は適法に作成され、調書記載額（高）は、各関係帳簿と符合しており、計数等に誤りはなく、記載事項も適正に表示されているものと認められた。

また、基金に関する現金については、条例、規則に基づき適正に運用がなされているものと認められた。

（１）公有財産

公有財産の状況

区　　分		単位	令和６年度末 現在高	令和７年度中 増減	令和７年度末 現在高
土地		**㎡**	**1,691,564.68**	**6,384.16**	**1,697,948.84**
	行政財産	㎡	1,602,203.91	4,710.11	1,606,914.02
	普通財産	㎡	89,360.77	1,674.05	91,034.82
	うち山林	㎡	27,042.48	0.00	27,042.48
建物		**㎡**	**110,030.04**	**1,229.04**	**111,259.08**
	行政財産	㎡	108,701.77	1,468.04	110,169.81
	普通財産	㎡	1,328.27	△ 239.00	1,089.27
有価証券		円	73,500,500	0	73,500,500
出資による権利		円	1,150,404,309	△ 152,000	1,150,252,309

土地は 169 万 7,948.84 ㎡で、増減の主なものは町道用地の寄付及び買収、教職員住宅用地の普通財産への変更によるものである。建物は 11 万 1,259.08 ㎡（延面積）で、増減の主なものは木ノ下中学校講堂の建築や教職員住宅の普通財産への変更によるものである。

有価証券の決算年度末現在高は昨年度同様 7,350 万 500 円、出資による権利の決算年度末残高は 11 億 5,025 万 2,309 円で、公益財団法人八戸地域高度技術振興センター出捐金の 15 万 2,000 円が減少した。

（２）物品

車両は、本庁舎供用車及び分庁舎供用車各１台の更新（普通自動車）、税務課公用車の更新（普通小型自動車→軽自動車）、子育て支援課公用車の更新（小型貨物自動車→普通小型自動車）、特殊用途車１台の処分（機能訓練車）、大型特殊車両１台の購入（グレーダー）により、合計では前年度と同じ 77 台となった。

（３）債権

債権となっている奨学資金貸付金の決算年度末残高は、貸付金 1,044 万円と貸付金収入（償還金）1,392 万 5,000 円により、8,390 万 8,000 円となり、前年度末と比較して 348 万 5,000 円（増減率△4.0％）減少した。

（4）基金

基金の決算年度末現在高は、一般会計では財政調整基金ほか10件58億5,421万6,154円、特別会計では3件9億5,730万4,442円、公営企業会計では1件370万8,451円で、合計68億1,522万9,047円となり、前年度に比べ5,539万1,993円（増減率△0.8%）減少した。

また基金における保有債券は9億9,969万3,890円で、前年度と比較して1億9,969万3,890円（同25.0%）増加した。なお、債券による運用を一部行っている財政調整基金及び減債基金並びに地域振興基金の運用利子積立額は、財政調整基金で312万5,466円（うち債券利子70万円）、減債基金で219万1,547円（うち債券利子159万8,000円）、地域振興基金で263万2,082円（うち債券利子190万8,000円）となった。

基金の状況

（単位：円）

区　　分	令和６年度末現在高	令和７年度		令和７年度末現在高
		増	減	
一般会計	**5,919,392,600**	**436,747,891**	**501,924,337**	**5,854,216,154**
財政調整基金	1,906,013,371	207,597,039	190,859,000	1,922,751,410
減債基金	764,904,665	23,496,547	35,007,979	753,393,233
まちづくり推進基金	50,000,000	112,500	112,500	50,000,000
病院健全化基金	1,431,969	359	0	1,432,328
地域福祉基金	202,946,305	210,288	6,916,288	196,240,305
まちづくり活動支援事業基金	53,349,486	13,593	1,127,161	52,235,918
ふるさと応援寄附基金	48,398,248	28,297,577	22,856,000	53,839,825
地域振興基金	1,237,432,204	2,632,082	0	1,240,064,286
学校施設耐震化基金	598,111	0	598,111	0
地域雇用創出推進基金	15,434,447	3,848	0	15,438,295
公共施設整備基金	1,622,844,450	171,327,129	243,498,799	1,550,672,780
東日本大震災復興推進基金	946,371	2,128	948,499	0
森林環境整備基金	15,092,973	3,054,801	0	18,147,774
特別会計	**947,528,291**	**14,776,151**	**5,000,000**	**957,304,442**
国民健康保険事業基金	366,831,075	96,697	5,000,000	361,927,772
奨学基金	126,820,995	6,038,364	0	132,859,359
介護保険給付費準備基金	453,876,221	8,641,090	0	462,517,311
公営企業会計	**3,700,149**	**8,302**	**0**	**3,708,451**
下水道事業整備基金	3,700,149	8,302	0	3,708,451
合　　計	**6,870,621,040**	**451,532,344**	**506,924,337**	**6,815,229,047**

９　公営企業会計

（１）病院事業会計

①収益的収入及び支出の状況

収益的収入及び支出の状況

（単位：円、％）

区　分	令和５年度 A	令和６年度 B	令和７年度 C	比較 B/A	比較 C/B
事業収益	**980,816,541**	**1,000,119,163**	**1,052,962,543**	**102.0**	**105.3**
医業収益	835,756,036	828,389,590	838,619,386	99.1	101.2
医業外収益	145,060,505	171,729,573	214,343,157	118.4	124.8
特別利益	0	0	0	―	―

区　分	令和５年度 A	令和６年度 B	令和７年度 C	比較 B/A	比較 C/B
事業費用	**1,018,560,620**	**1,068,500,797**	**1,161,054,082**	**104.9**	**108.7**
医業費用	983,486,708	1,034,229,677	1,119,393,519	105.2	108.2
医業外費用	35,073,912	34,271,120	41,660,563	97.7	121.6
特別損失	0	0	0	―	―
うち給与費(再掲)	597,250,333	659,691,901	715,257,904	110.5	108.4

当年度損益	△37,744,079	△68,381,634	△108,091,539

病院事業収益のうち、入院収益は５億8,918万7,481円で、前年度に比べ889万2,837円（増減率1.5％）増加した。また、外来収益は１億5,901万8,127円で、前年度に比べ213万3,911円（同1.4％）増加した。

医業外収益は、２億1,434万3,157円で、前年度に比べ4,261万3,584円（同24.8％）増加した。そのうち他会計負担金が１億2,857万6,000円となっている。

病院事業費用のうち、医業費用の給与費は5,556万6,003円増加し、医業外費用は4,166万563円で、前年度に比べ738万9,443円（同21.6％）増加した。

当年度の純損失は１億809万1,539円となっている。

医療費の状況

（単位：円、％）

区　分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率 ７年度	収納率 ６年度
現年分	748,205,608	746,002,527	0	2,203,081	99.7	99.7
滞納繰越分	6,145,802	2,336,320	0	3,809,482	38.0	37.8
合　計	754,351,410	748,338,847	0	6,012,563	99.2	99.2

②資本的収入及び支出の状況

資本的収入	
企業債	75,600,000
他会計出資金	20,432,000
県補助金	3,084,000
長期貸付金返還金	3,300,000
計	102,416,000

資本的支出	
建設改良費	79,358,290
企業債償還金	40,610,000
医師修学資金貸付金	2,400,000
計	122,368,290

当年度の資産購入の主なものは、X線CT装置5,827万8,000円、特殊浴槽720万5,000円、全自動散薬分包機632万5,000円である。

なお、本年度末の企業債未償還金残高は1億4,843万円となっている。

③患者数の状況

患者数は、入院患者が19,349人で、前年度に比較して509人増加し、外来患者は24,562人で372人減少した。病床利用率は72.6%で前年度の70.7%に比較して1.9ポイント増加している。

④財政状況

貸借対照表に示されている資産、負債、資本の内容は次のとおりである。

貸借対照表の状況

（単位：円、%）

区　分	令和５年度 A	令和６年度 B	令和７年度 C	比　較	
				B/A	C/B
資産合計	1,784,402,243	1,712,800,701	1,654,131,910	96.0	96.6
負債合計	316,326,209	286,096,301	315,087,049	90.4	110.1
資本合計	1,468,076,034	1,426,704,400	1,339,044,861	97.2	93.9
負債・資本合計	1,784,402,243	1,712,800,701	1,654,131,910	96.0	96.6

（ア）資産

本年度の資産合計は16億5,413万1,910円で、前年度17億1,280万701円と比較して5,866万8,791円（増減率△3.4%）減少している。

これは主に流動資産のうち現金預金で4,816万4,141円（同△5.1%）減少となったことによるものである。

（イ）負債

負債合計は3億1,508万7,049円で、前年度2億8,609万6,301円と比較して2,899万748円（同10.1%）増加している。これは主に企業債残高が3,499万円（同30.8%）増となったことによるものである。

（ウ）資本

資本合計は13億3,904万4,861円で前年度14億2,670万4,400円と比較して8,765万9,539円（同△6.1%）減少している。これは主に資本金で、2,043万2,000円（同1.3%）増となったが、純損失1億809万1,539円が生じたことによる。

（２）下水道事業会計

①収益的収入及び支出の状況

収益的収入及び支出の状況

（単位：円、％）

区　分	令和６年度 A	令和７年度 B	比　較 B/A
事業収益	**891,243,033**	**865,152,853**	**97.1％**
営業収益	213,151,279	212,510,592	99.7％
営業外収益	678,091,754	652,642,261	96.2％

区　分	令和６年度 A	令和７年度 B	比　較 B/A
事業費用	**740,516,533**	**738,411,139**	**99.7％**
営業費用	648,185,250	653,820,598	100.9％
営業外費用	79,752,657	79,467,556	99.6％
特別損失	12,578,626	5,122,985	40.7％
予備費	0	0	－

当年度損益	150,726,500	126,741,714

当町の下水道事業は、従来、官公庁会計（単式簿記）により運営されていたが、国の要請に基づき、効率的な経営及び経営基盤の強化を図るため、令和６年度から地方公営企業法を適用し、公営企業会計（複式簿記）に移行した。

事業収益のうち、下水道使用料収益は２億1,192万4,592円で、前年度に比べ89万5,487円（増減率△0.4％）減少した。またその他営業収益は58万6,000円で前年度に比べ25万4,800円（同76.9％）増加した。

営業外収益は、６億5,264万2,261円で、前年度に比べ2,544万9,493円（同△3.8％）減少した。そのうち他会計補助金が３億517万9,000円となっている。

下水道事業費用のうち、営業費用は６億5,382万598円、営業外費用は7,946万7,556円、特別損失512万2,985円であった。

当年度の純利益は１億2,674万1,714円となっている。

下水道使用料の状況

（単位：円、％）

区　分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
					７年度	６年度
現年分	233,107,283	225,742,648	0	7,364,635	96.8	97.4
滞納繰越分	10,002,073	5,174,030	677,874	4,150,169	51.7	60.8
合　計	243,109,356	230,916,678	677,874	11,514,804	95.0	95.7

②資本的収入及び支出

資本的収入	
企業債	432,500,000
他会計補助金	216,148,000
補助金	25,722,000
負担金及び分担金	1,574,830
固定資産売却代金	792,364
計	676,737,194

資本的支出	
建設改良費	136,625,300
企業債償還金	665,028,779
基金積立金	8,302
計	801,662,381

収入額が支出額に対し不足する額1億2,492万5,187円は、損益勘定留保資金及び利益剰余金処分額等で補てんされている。

なお、本年度末の企業債未償還金残高は44億8,562万3,586円となっている。

③業務量の状況

下水道普及率は63.3%で、前年度と比較して0.4ポイント増加し、水洗化率は93.9%で0.6%減少した。年間総処理水量は1,157,395㎥で前年度の1,165,136㎥に比較して7,741㎥減少している。

④財政状況

貸借対照表に示されている資産、負債、資本の内容は次のとおりである。

貸借対照表の状況

（単位：円、%）

区　分	令和６年度 A	令和７年度 B	比　較 B/A
資産合計	11,142,067,847	10,929,428,413	98.1
負債合計	11,151,996,593	10,812,615,445	97.0
資本合計	△ 9,928,746	116,812,968	△ 1,176.5
負債・資本合計	11,142,067,847	10,929,428,413	98.1

（ア）資産

本年度の資産合計は109億2,942万8,413円で、前年度111億4,206万7,847円と比較して2億1,263万9,434円(増減率△1.9%)減少している。

これは流動資産のうち現金預金で5,718万4,477円（同51.7%）増加したが、固定資産のうち構築物で減価償却等により2億3,960万6,955円(同△2.5%）減少となったことによる。

（イ）負債

負債合計は108億1,261万5,445円で、前年度111億5,199万6,593円と比較して3億3,938万1,148円（同△3.0%）減少している。これは主に企業債残高が2億2,792万8,779円（同△4.8%）減少したことによる。

（ウ）資本

資本合計は1億1,681万2,968円で前年度△992万8,746円と比較して1億2,674万1,714円増加している。これは主に純利益1億2,674万1,714円が生じたことによる。

１０　総括意見

１　決算状況

令和７年度の一般会計及び特別会計の総計予算額は205億7,056万7,700円であった。一般会計及び特別会計の総計決算額は、歳入が192億6,930万6,757円で、歳出が183億5,860万7,939円となり、前年度の総計決算額に比べ歳入では 6億9,441万7,442円（増減率3.7%）増加し、歳出では3億1,416万3,060円（同1.7%）増加した。

（１）一般会計

一般会計の決算額は、歳入が139億9,298万4,414円で、前年度と比較して5億9,053万5,142円（増減率4.4%）増加し、歳出は132億5,974万7,573円で、前年度と比較して2億3,172万3,610円（同1.8%）増加した。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は7億3,323万6,841円で、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支は4億3,357万3,301円の黒字となり、実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 1億5,291万2,692円の黒字となった。

歳入では、収入率（調定額に対する収入済額）が99.4%で前年度に比べ0.2ポイント上回り、収入未済額は前年度に比べ2,162万9,691円（同△21.8%）減少し、不納欠損額は328万7,551円（同△32.1%）減少した。

町税収入は29億7,380万1,440円（収納率97.6%）で、前年度に比べ2億5,380万7,590円（増減率9.3%）増加した。

歳入を財源別にみると、自主財源は39億3,743万4,742円で、前年度に比べ2億7,320万8,348円（同7.5%）増加した。依存財源は100億5,554万9,672円で、前年度に比べ3億1,732万6,794円（同3.3%）増加した。これは主に町債や県支出金の増額によるものである。

歳出では、不用額が4億8,003万13円で、前年度に比べ1億4,145万8,721円（同41.8%）増加した。目的別歳出をみると、総務費（18.6%増）や民生費（6.6%増）が増加した一方、教育費（△3.0%減）や消防費（△26.3%減）は減少した。

今後も、物価高騰等の影響を注視しつつ、引き続き健全財政の維持に努められたい。

（２）特別会計

特別会計の歳入総額は52億7,632万2,343円、歳出総額は50億9,886万366円で、実質収支は合わせて1億7,746万1,977円の黒字となった。

①　国民健康保険特別会計

実質収支は1,549万5,810円の黒字となった。歳入の国民健康保険税（収納率84.4%）は前年より微減となった。被保険者数が4,432人と減少（前年比174人減）を続ける中で、保険給付費は1億370万7,403円増加している。一人当たりの給付費も増加傾向にあるため、引き続き医療費の抑制対策に努められたい。

②　奨学資金貸付事業特別会計

実質収支は黒字であったが、単年度収支は24万9,842円の赤字となった。

貸付金元利収入の収入未済額が 502 万 4,000 円と前年度と比較して 45 万 1,000 円（増減率 9.9%）増加しているため、滞納解消に向けた適切な収納対策を強化し、事業原資の確保に努められたい。また、本年度末の貸付割合が 38.7%と減少傾向にあることを踏まえ、寄附者の意思を尊重しつつ、本基金の有効的な活用方法について早急に検討されたい。

③　介護保険特別会計

前年度は 3,849 万 5,049 円の赤字であった単年度収支は 1,626 万 1,661 円の黒字となった。

要支援・要介護認定者数が 969 人と増加（前年比 19 人増）し、保険給付費も増加傾向にある。給付費の適正化とともに、介護予防事業等の充実を図り、認定者数や給付費の伸びの抑制に努められたい。

④　後期高齢者医療特別会計

単年度収支が 64 万 6,730 円の赤字となった。

不納欠損額は減少したものの、収入未済額は 325 万 70 円（増減率 18.0%）と増加している。初期段階からの未納防止に努め、広域連合との連携を密にして徴収体制を強化されたい。

（３）公営企業会計

①　病院事業会計

令和７年度病院事業は、７つの診療科目により地域医療の確保に努めており、業務量では病床利用率が前年度比 1.9 ポイント上昇、入院収益は 889 万 2,837 円（増減率 1.5%）増加し、外来収益も 213 万 3,911 円（同 1.4%）増加した。

経営面では、経常損失が１億 809 万 1,539 円となり、前年度から 3,970 万 9,908 円（同 58.1%）増加した。この主因は、人事院勧告を踏まえた給与費 5,556 万 6,003 円（同 8.4%）の増加や原油・物価高騰が続く中での経費 2,539 万 2,478 円（同 12.1%）の増加である。特に経費では、修繕費において購入後 10 年超経過し、更新を目前としたＸ線ＣＴ装置の突発的故障に伴う修繕に加え、同年 12 月の青森県東方沖地震により損傷したＸ線透視撮影装置の災害復旧修繕が大きく影響した。いずれも医療継続と救急体制確保に不可欠な、やむを得ない支出であったと認められる。

公立医療機関の経営が厳しい中、今後も地域医療の根幹を担う責務を果たされたい。しかし、老朽化機器の高額修繕や災害による突発的経費の重なりは財政を圧迫することから、今後は予期せぬ災害への備えや新病院建設を見据えた計画的な機器の更新に努められたい。

自治体病院としての公的使命を全うしつつ、持続可能な地域医療提供体制を維持するため、きめ細やかな予算管理を通じた経営の効率化と、たゆまぬ経営改善の推進を期待するものである。

②　下水道事業会計

令和７年度下水道事業は、老朽化した施設の計画的な更新を進め、施設の適切な維持管理に努めている。

業務状況については、処理区域内人口は 15,720 人と前年度から 59 人減少したものの、普及率が 63.3%と 0.3 ポイント上昇した。

経営面では、電気料金や資材費の高騰に加え、流域下水道の維持管理費

負担金の増加や、施設の維持管理に係る工事請負費の発生などにより営業費用が増大した。その結果、当年度純利益は前年度から 2,398 万 4,786 円（増減率△15.9%）の減少となった。

今後、人口減少や物価高騰などの厳しい経営環境が続くことが予想されるなか、下水道サービスの安定的な提供と使用者負担の適正化及び公平性を図るとともに、改定された「経営戦略」に基づく適切な進捗管理を通じて、持続可能な健全経営の推進を期待するものである。

2　まとめ

（1）審査の概況

各会計の決算諸表は関係帳簿と合致し、計数は正確であると認められた。また、予算の執行及び財政運営についても、概ね適正かつ効率的に執行されている。

（2）総括評価と財政運営

一般会計及び特別会計を合わせた実質収支は総計で 6 億 1,103 万 5,278 円の黒字となり、健全な財政運営が図られている。

一般会計では、町税収入が 9.3%増加するなど自主財源に改善が見られるが、依然として歳入の 7 割以上を依存財源に頼る財政構造にあり、引き続き財源確保と安定的な運営が求められる。

（3）主要な執行課題への指摘

・予算執行の精緻化

物価高騰や労務単価の上昇といった社会情勢の変化を注視しつつ、各事業で経費の節減に努めた結果ではあるが、一般会計において、不用額が前年度比 41.8%増の 4 億 8,003 万 13 円と多額に達している。今後はより精緻な予算編成と計画的な執行管理に努められたい。

・社会保障制度の安定化

国民健康保険や介護保険において、被保険者の減少に対し一人当たり給付費が増加する構造的課題がある。予防事業の充実による給付費の適正化を望む。

・公営企業の経営改善

病院事業では、給与費の増や、突発的な故障等による修繕費の急増（412.2%増）が収支を圧迫した。下水道事業においても施設の老朽化対策が課題となっている。いずれも新病院建設や経営戦略を見据え、資産のライフサイクルに基づいた計画的な機器の更新や「予防保全」に努めるとともに、さらなる経営の効率化を図られたい。

（4）むすび

今後、人口減少と物価高騰が続く厳しい経営環境下において、デジタル化の推進や広域連携も視野に入れつつ、より精緻な予算編成と計画的な執行管理に努めるとともに、公営企業における「経営戦略」に基づく着実な進捗管理を行うなど、将来にわたって持続可能な健全な財政運営と経営の推進を強く望むものである。

Ⅱ

令和７年度財政健全化及び経営健全化審査意見書

お監第　２２号
令和８年８月６日

おいらせ町長　成田光寿様

おいらせ町監査委員　川口晴彦

おいらせ町監査委員　木村忠一

令和7年度財政健全化及び経営健全化審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により提出を受けた健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類並びに同法第22条第1項の規定による資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について審査した結果、別紙のとおり意見書を提出します。

令和７年度　財政健全化審査意見書

１　審査の対象

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類。

２　審査の方法

財政健全化審査にあたっては、町長から提出された令和７年度の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について、計数が正確であるか、算出過程に誤りがないか、関係書類が適正に作成されているかなどを主眼として実施した。

３　審査の期間

令和８年７月２４日　の１日間

４　審査の結果

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていると認められた。

（単位：千円、％）

	５年度	６年度	７年度	前年度対増減	早期健全化基準
実質赤字比率	―	―	―	―	14.00％ (6.07％の黒字)
連結実質赤字比率	―	―	―	―	19.00％ (23.38％の黒字)
実質公債費比率	10.1	9.3	8.3	△1.0	25.0％
将来負担比率	―	―	―	―	350.0％
標準財政規模	6,936,468	7,117,173	7,144,758	27,585	

なお、各指標についてであるが、「実質赤字比率」については、関係する一般会計及び奨学資金貸付事業特別会計の実質収支が黒字であるため赤字比率としての数値は出ていない。

「連結実質赤字比率」については、一般会計及び特別会計の実質収支額、公営企業会計の資金剰余額を合算して算出するが、これについても前項目と同様のことから数値としては出ていない。

また、「実質公債費比率」については、分母となる標準財政規模は増加したが、3か年平均で見ると前年度より 1.0 ポイント減の 8.3%となり、早期健全化基準である 25.0%を 16.7 ポイント下回った。

「将来負担比率」についても、地方債現在高が増加したことなどにより数値上△37.7%となり、前年度より 3.0 ポイント増となった。これは早期健全化基準である 350.0%を大きく下回っている。

以上のことから、健全化判断比率各指標については特に指摘すべき事項はない。

令和７年度　経営健全化審査意見書

１　審査の対象

病院事業会計、下水道事業会計に関わる資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類。

２　審査の方法

この経営健全化審査にあたっては、町長から提出された令和７年度のそれぞれの会計の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について、計数が正確であるか、算出過程に誤りがないか、関係書類が適正に作成されているかなどを主眼として実施した。

３　審査の期間

令和８年７月２４日　の１日間

４　審査の結果

審査に付された各会計の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

（単位：％）

対象会計	資金不足比率			増減	経営健全化基準
	５年度	６年度	７年度		
病院事業会計	― (121.2)	― (118.2)	― (110.0)	― (△8.2)	20.0
下水道事業会計	― (―)	― (39.9)	― (64.7)	― (24.8)	

※（　）内の数値は資金剰余比率

各会計とも資金不足状態にはなく、経営健全化基準の 20.0％と比較すると、良好な状況にあると認められる。よって、指摘すべき事項は特にない。

Ⅲ

令和７年度基金運用状況

審査意見書

お監第　２３　号
令和８年８月６日

おいらせ町長　成　田　光　寿　様

おいらせ町監査委員　　川　口　晴　彦

おいらせ町監査委員　　木　村　忠　一

令和７年度　基金運用状況審査意見について

地方自治法第241条第５項の規定により提出を受けた基金の運用状況を示す書類について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。

令和７年度　基金運用状況審査意見書

１ 審査の対象

おいらせ町奨学基金

２ 審査の方法

審査にあたっては、審査に付された基金運用状況を示す書類について、おいらせ町監査基準に準拠し、①基金の運用の状況を示す書類の計数は正確か、②基金の運用が確実かつ効率的に行われているかなどに主眼を置き、各基金運用状況報告書と関係帳簿及び証書類との照合・確認を行うとともに、必要に応じて関係職員の説明及び関係資料の提出を求めるなどの方法により、実施した。

３ 審査の期間

令和８年７月６日　の１日間

４ 審査の結果

審査に付された奨学基金の運用状況を示す書類は、関係帳簿と照合した結果、いずれも基金の額と符合し、正確であると認められた。

５ 審査意見

（１）本基金の設置

本基金は、奨学金の貸与に関する事務を円滑かつ効率的に行うため（おいらせ町奨学基金条例（平成18年条例第68号）第1条）、地方自治法第241条第1項の規定に基づき設置されたもので、基金の額は、1,000万円である（同条例第2条第1項）。

基金の運用については、基金から生ずる収益及びその他の収入をもってこれに充てるものとし、貸与条件は、おいらせ町奨学資金貸与条例（平成18年条例第82号）の定めるところによるものとしている。

（２）本基金の現状

本年度末現在高は、預金1億3,285万9,359円及び貸付金8,390万8,000円（合計2億1,676万7,359円）で、本年度の貸付金は1,044万円（23人）、償還額は1,392万5,000

円（46人）となっている。

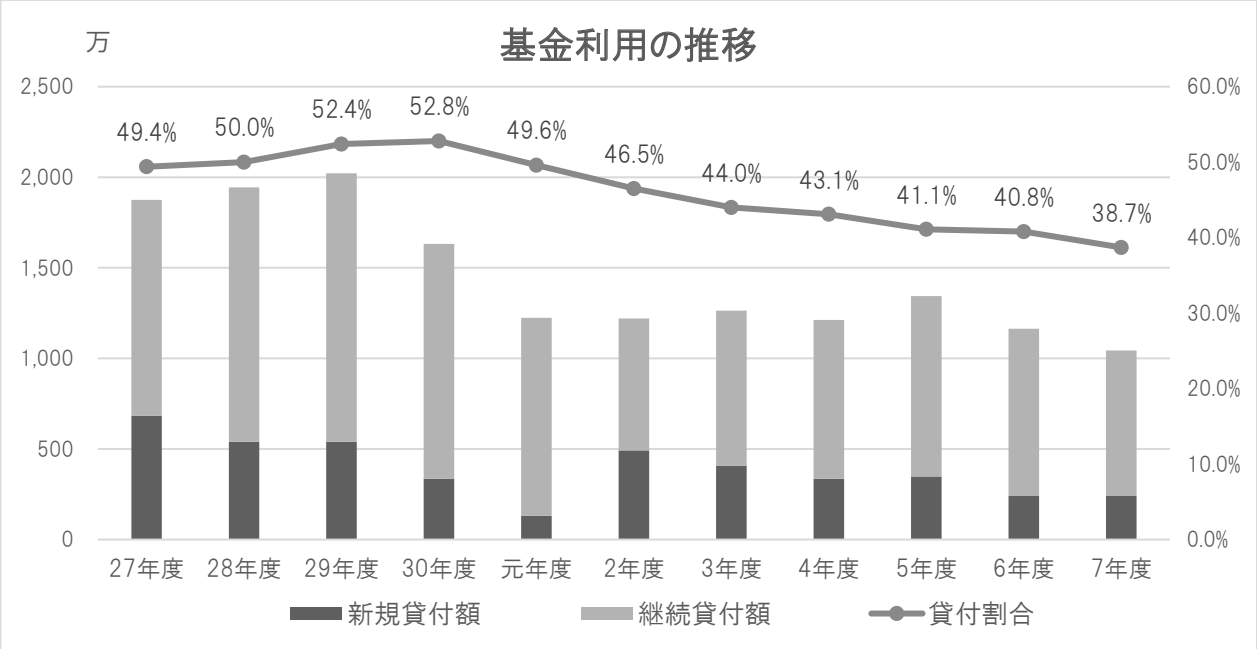
本年度末の貸付割合（貸付金年度末現在高÷基金年度末現在高）は38.7％となっており、また基金の貸付割合は平成30年度の52.8％をピークに減少傾向にある。

（３）本基金の今後の在り方

本基金は、町内に住所を有する者の子弟で、心身健全かつ生計上の事由により就学困難な者に対しておいらせ町奨学資金を貸与し、有用な人材を育成することを目的としている。しかし、貸付割合が年々減少し、また新規貸与者も減少傾向にあることから、寄附者の意思を尊重し、本基金の有効的な活用方法について早急に検討することが求められる。

奨学資金貸付基金運用状況

区分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増 加	減 少	
預　　金	126,820,995	6,038,364	0	132,859,359
貸 付 金	87,393,000	10,440,000	13,925,000	83,908,000
合　　計	214,213,995	16,478,364	13,925,000	216,767,359



Ⅳ

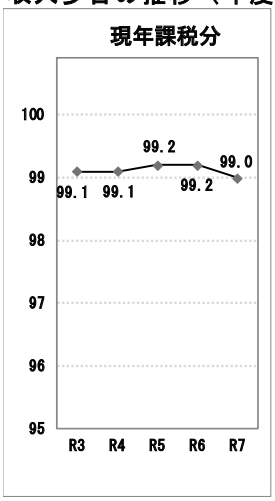
参 考 資 料

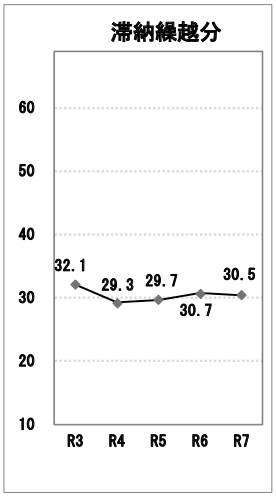
町税等の徴収率の推移のグラフ

町税 （町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税）	保育料	P41
給食費負担金	霊園管理料等	P42
住宅使用料	国民健康保険税	P43
奨学資金貸付金	介護保険料	P44
後期高齢者医療保険料	医療費(おいらせ病院)	P45
下水道使用料		P46

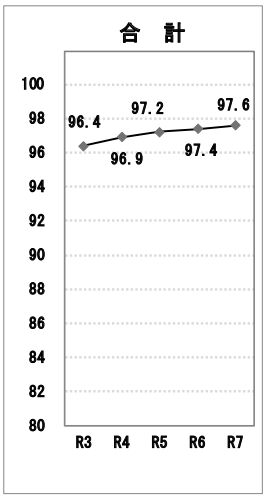
町税の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

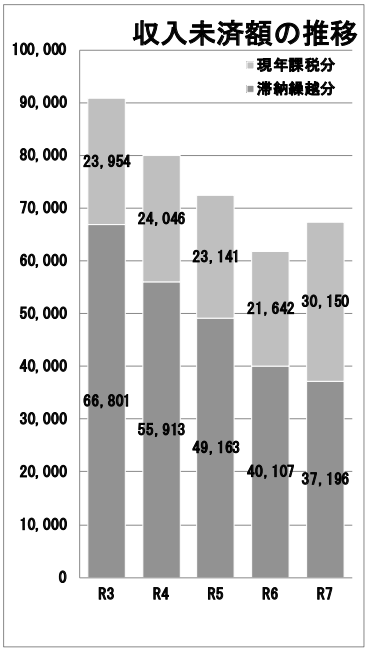




（単位：%）

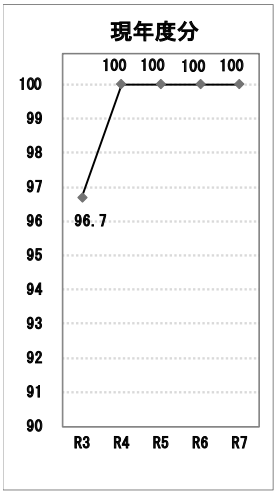


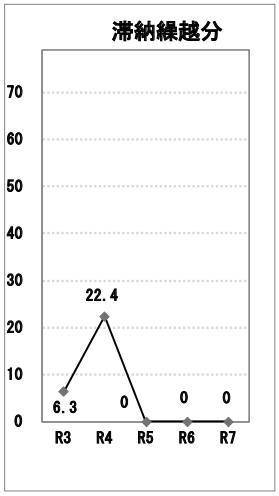
（単位：千円）



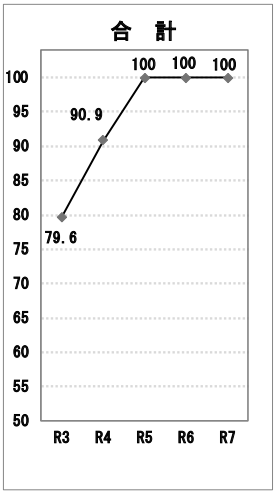
保育料の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

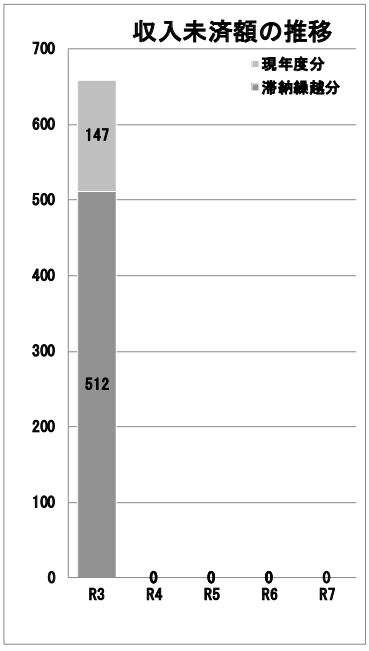




（単位：%）



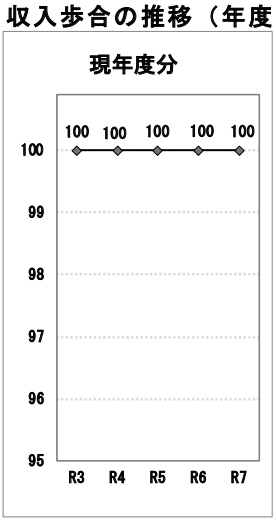
（単位：千円）

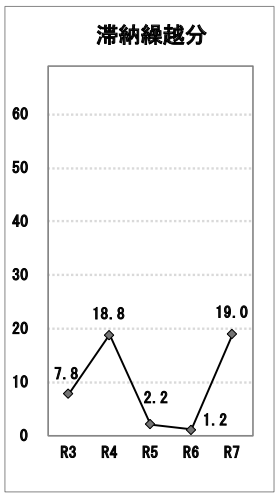


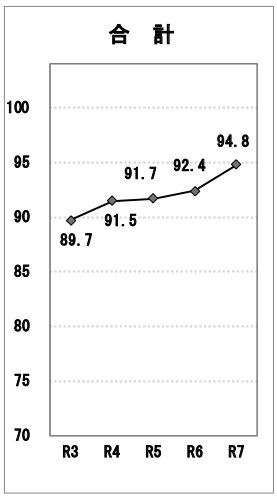
給食費負担金の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

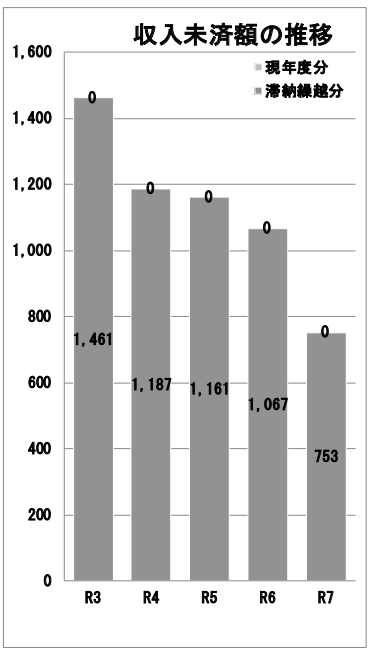
（単位：％）







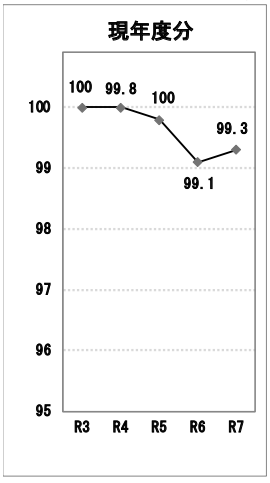
（単位：千円）

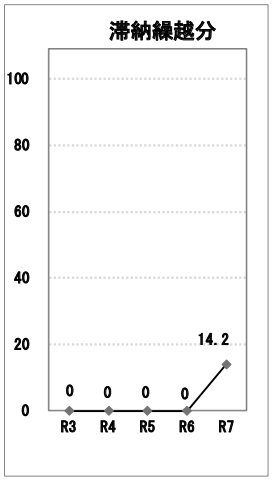


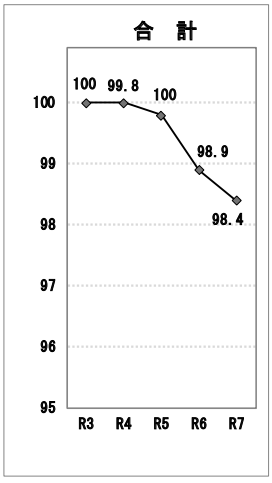
霊園管理料等の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

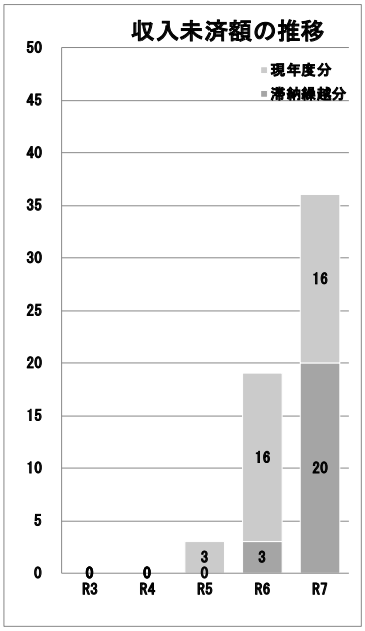
（単位：％）





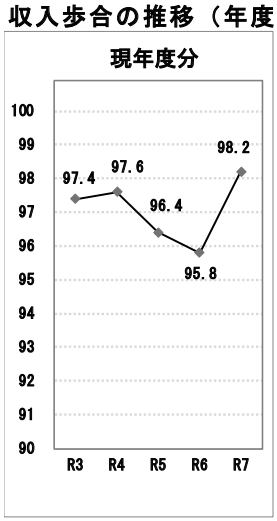


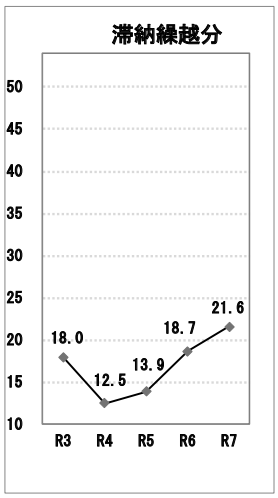
（単位：千円）



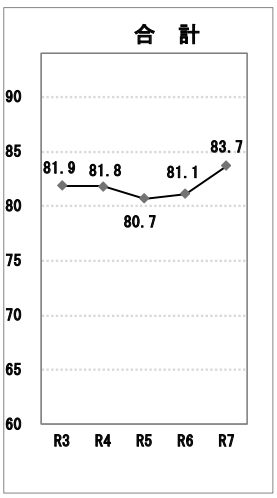
住宅使用料の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

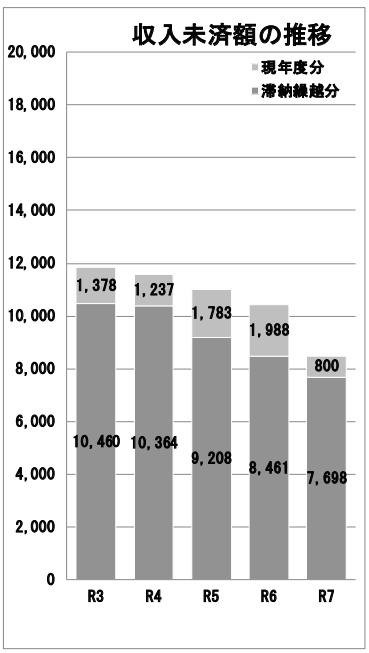




（単位：%）

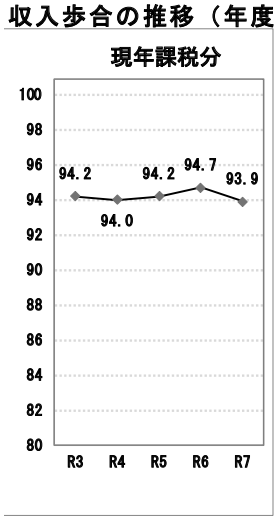


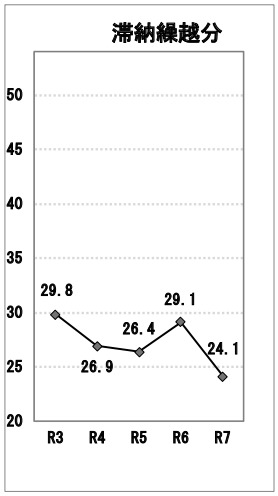
（単位：千円）



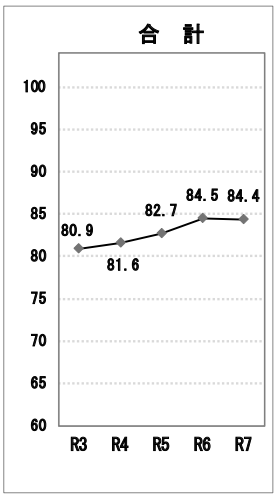
国民健康保険税の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

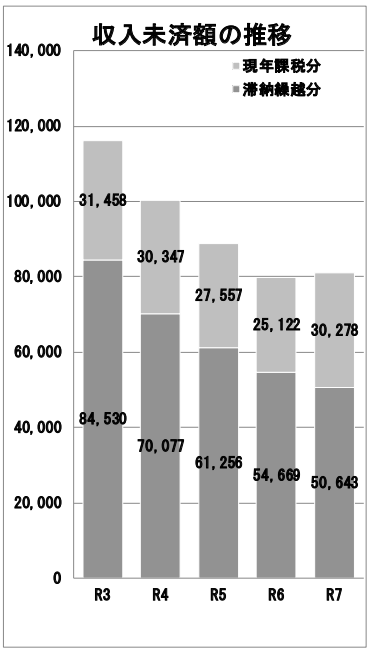




（単位：%）

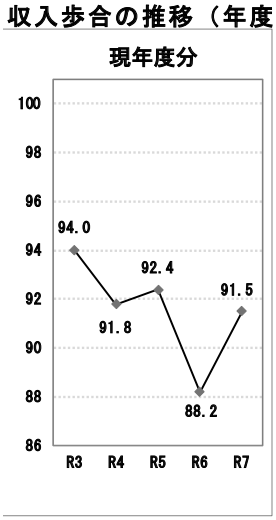


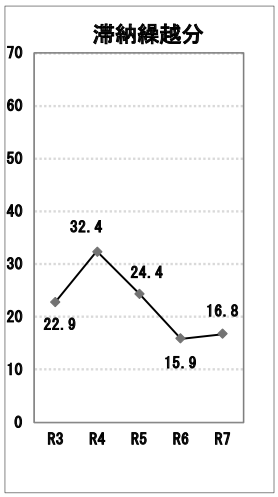
（単位：千円）



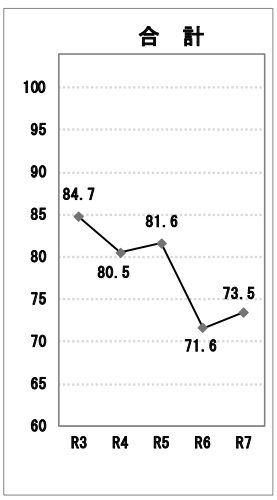
奨学資金貸付金の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

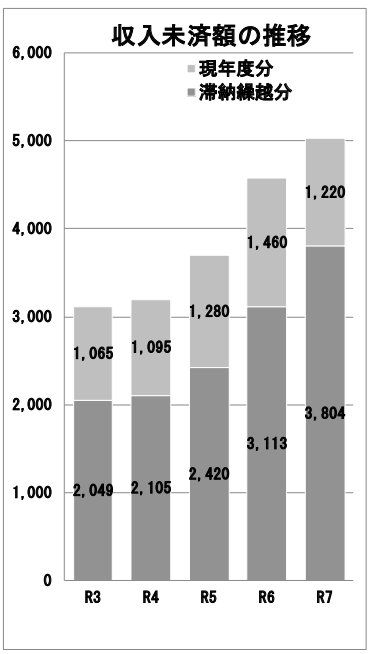




（単位：％）

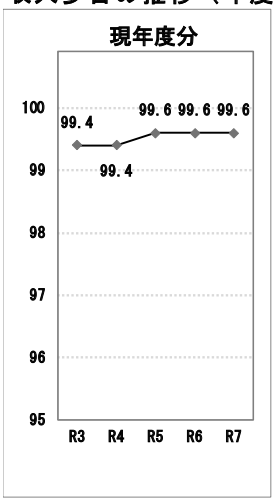


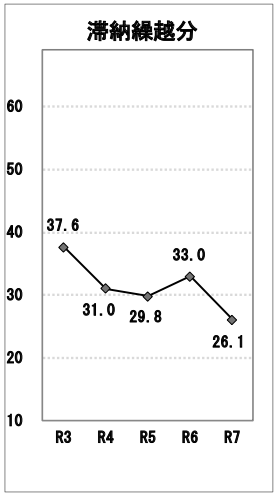
（単位：千円）



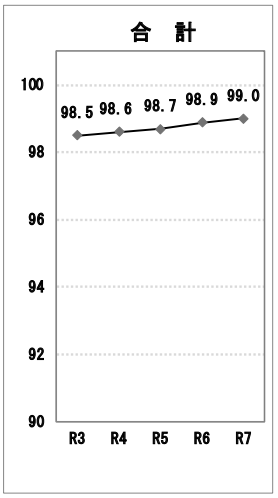
介護保険料の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

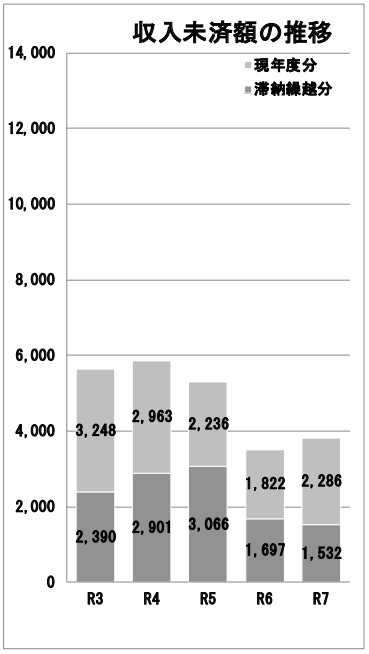




（単位：％）



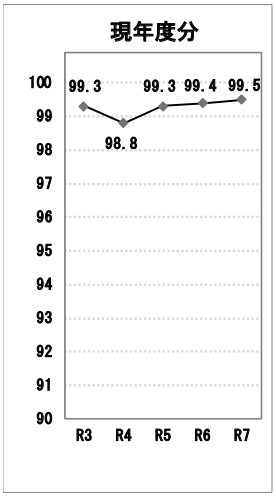
（単位：千円）

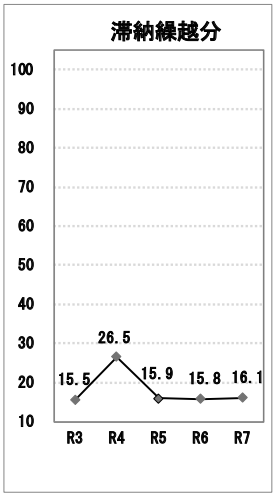


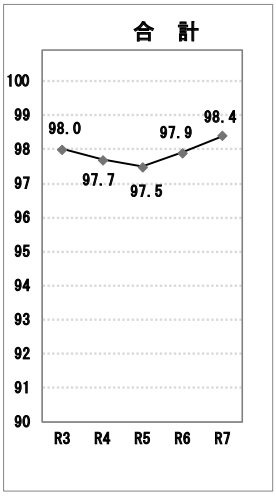
後期高齢者医療保険料の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

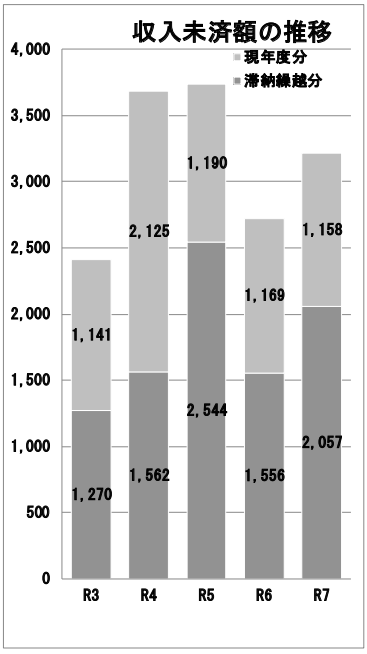
（単位：%）







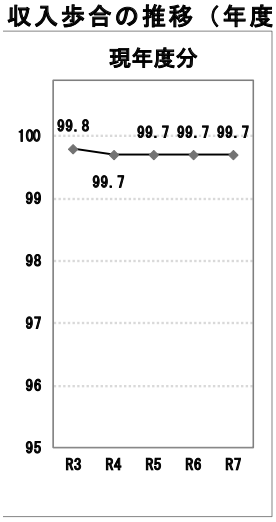
（単位：千円）

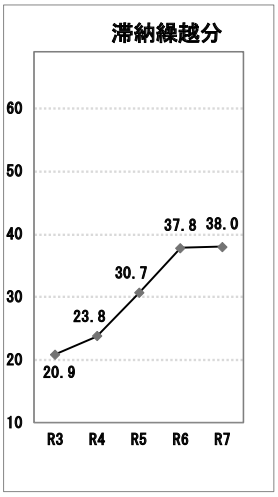


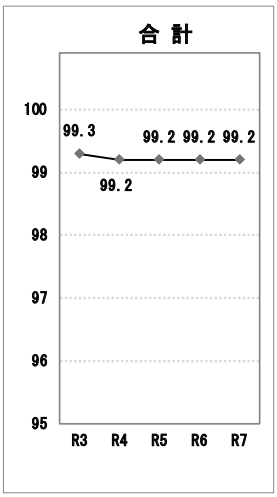
医療費の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

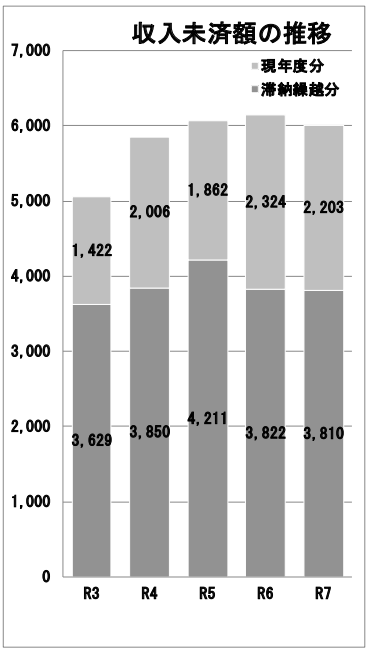
（単位：%）







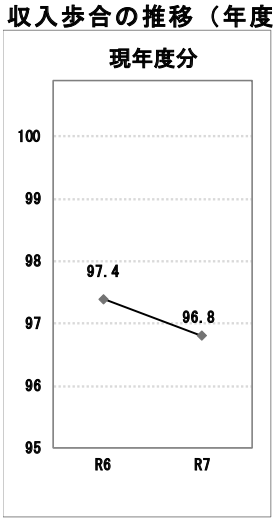
（単位：千円）

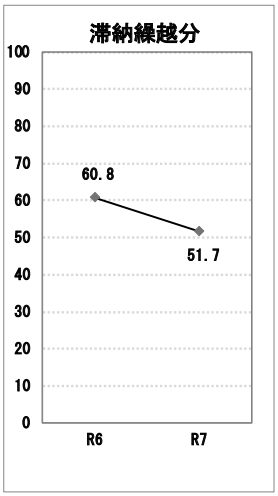


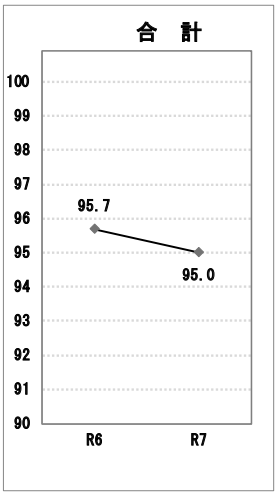
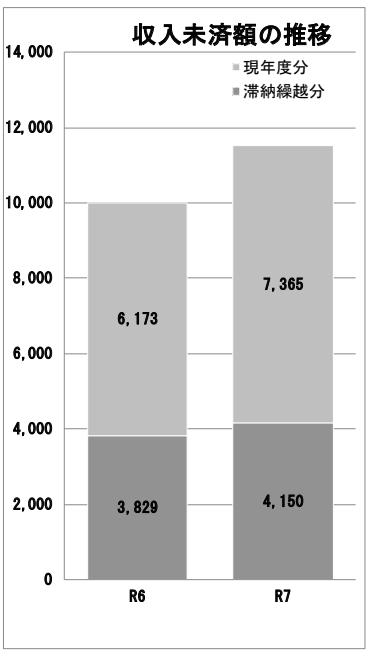
下水道使用料の徴収率等の推移

収入歩合の推移（年度）

（単位：%）







（単位：千円）